

ドングリ (団栗)
ブナ科の植物の果の総称
(ブナ、ミズナラ、コナラ、カシワ、クリなど)
「堅果」と呼ばれる。硬い皮に包まれ、
お椀のような「殻斗」をかぶり、縄文
時代から食用や動物の餌として利用
されてきた。栄養豊富な秋の自然の
恵みである。(クリは厳密にはドングリ
ではないがクマの好物とされる)
クマの重要な冬眠前の栄養源である
ため、豊作か不作かがクマの市街地
出没に大きく影響する。



※写真はイメージです。

県民と湯沢雄勝の安全・安心、 課題解決のために全力で行動します!



秋田県議会 総務企画委員
議会運営委員

佐藤 正一郎

2026年の新春を迎え、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

湯沢雄勝地域の昨年は気象変動が激しいなか、物価高騰による厳しい生活が続きました。その上あらゆる職業で人手不足が顕著になり、ツキノワグマによる被害が多発するなど、多難な一年でした。

こうした課題を解決するため、特色ある地域産業の持続的な発展、教育・福祉や医療・環境の問題に取り組み、安全で安心な社会の構築、地域のインフラ整備等に皆様の声を反映させ、県勢の発展に資するよう、全力で努めて参ります。

引き続き、皆様からご指導ご鞭撻を賜りますようよろしく
お願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。

佐藤正一郎 県議会報告会

2026

新春の集いのご案内



とき 令和8年 1月25日(日) 午後1時30分～4時30分
ところ 巨福会館 ホール 〈JAこまち羽後支店・2階
羽後町西馬音内字中野19-35〉
会費 3,000円 (当日、受付でいただきます)

参加申込み

どなたでも参加できますが準備の都合上、1月21日(水)までに
事務局 ☎ 0183-67-2559 または 090-7060-4600 へご連絡ください。



今回の補正予算は、マーケティングによる施策の推進に要する経費のほか、重点的に取り組む施策、渇水に対する応急対策、8月からの大雨による被害対策に要する経費、県内中小企業等の賃金の引き上げに向けた支援に要する経費について計上した。

9月補正予算の主な内容

●マーケティング戦略推進事業 …… 1,409万円

全庁でのマーケティング手法の活用に向けた体制の強化・充実を図るため、必要な基盤整備やパブリックリレーションズを通じたニーズ把握等を行う。

●**新**こっちゃけ！就活応援キャンペーン事業 …… 1,383万円

大学生等の県内定着・回帰を推進するため、首都圏等の学生を対象とした県内就職を応援する取組を実施する。

●医療施設等経営強化緊急支援事業 …… 4億7,606万円

患者数の減少や物価高騰による経営状況の急変に対応するため、病床数の適正化を進める公立を含む医療機関に対して支援を行う。

●**新**緊急銃猟等体制整備支援事業 …… 101万円

ツキノワグマが出没した場合に備えるため、緊急銃猟の体制整備を行う市町村を支援する。

●**新**渇水応急対策事業 …… 6,453万円

令和7年6月以降の高温・少雨により、農家等が農業用水の確保に向けて実施した渇水応急対策の経費に対し、市町村と協調して助成する。

令和7年度 一般会計 補正予算

150億6,812万円

補正後の規模 6,143億6,460万円

●災害り災者見舞金 …… 1,120万円

今後の災害発生に備え、被災世帯に対する見舞金に係る経費を増額する。

●災害援護資金貸付金 …… 8,340万円

住家の全壊、半壊及び家財の1/3以上の被害があった被災者へ資金貸与を行う市町村に対し、その原資を貸し付ける。

●災害復旧対策事業 …… 118億567万円

被害を受けた土木施設、農業用施設の復旧等を行う。

●農業経営等復旧・継続支援対策事業 (令和7年大雨災害分) …… 3,097万円

被害を受けた農業経営等の再建を支援するため、農地や生産施設の復旧及び被災農業者の再生産に向けた取組等に対し助成する。

●**新**賃上げ緊急支援事業 …… 9億281万円

最低賃金の大幅な引き上げによる中小企業等の負担軽減を図るため、緊急的な措置として支援金を交付する。

9月議会 一般質問



三浦 茂人 [秋田市]

- ◆ 移住支援について
- ◆ 持続可能性を基盤とした 稼ぐ力の向上について
- ◆ 新スタジアム整備について
- ◆ 緊急銃猟について
- ◆ 循環器・脳脊髄センターの 運営について
- ◆ 戦略的な秋田米の 生産・販売について
- ◆ スポーツ環境及び 高校入試制度のあり方について
- ◆ 本県経済を支える 中小企業等への支援について
- ◆ 財政の健全化について
- ◆ 県有施設のあり方について
- ◆ 洋上風力発電事業者の撤退について

9月議会 総括審査



佐藤 正一郎 [湯沢市・雄勝郡]

- ◆ 次期総合計画について
- ◆ 賃上げ緊急支援と 生産性向上支援について
- ◆ 洋上風力発電事業への 対策について
- ◆ 飛砂防備保安林の 再生について

山形 健二 [横手市]

- ◆ 人口減少対策における 子育て支援策等の見せ方について
- ◆ 子育て世帯等移住意識調査事業について
- ◆ 秋田県立中央公園陸上競技場について

決算 特別委員会

令和7年 10月14日～31日

一般会計および 特別会計の決算に について審査

三浦 茂人 [秋田市]

- ◆ 秋田県立循環器・脳脊髄センターのあり方について
- ◆ 保育士・保育所支援センターの設備について

総括審査

今回の補正予算は、ツキノワグマによる被害防止対策などの重点的に取り組む事業のほか、物価高騰対策などの国の補正予算に対応した事業、公共事業の発注を前倒しするための債務負担行為等について計上した。

12月補正予算の主な内容

● ツキノワグマ捕獲緊急対策事業 … 2,465万円

ツキノワグマ被害の拡大に伴い、有害捕獲等による負担が大きくなっている捕獲従事者を支援する。

● 医療保健福祉計画推進事業 … 4億4,341万円

① 病床機能再編支援事業：医療需要に即した医療提供体制を確保するため、病床数の適正化に取り組む医療機関に対し給付金を支給する。

② 不整脈治療体制整備事業：不整脈治療の拠点病院が行う設備整備に要する経費に対し助成する。

● 新 洋上風力発電関連先行投資者支援事業

…………… 600万円

洋上風力発電事業における事業者撤退の影響を軽減するため、先行して設備投資を実施した県内企業の借入金利子の一部を助成する。

● 広域集客型劇場コンテンツ活用事業

…………… 3,920万円

劇団わらび座が行う、秋田県の民俗芸能等をモチーフとしたミュージカル造成等に要する経費に対し助成する。

● 新 広域緩衝林帯整備事業 …………… 2,050万円

人の生活圏におけるツキノワグマの出没を抑制するため、住宅地や農地等に面する森林において、不用木等を除去する。

令和7年度 一般会計 補正予算

144億 205万円

補正後の規模 6,287億 6,665万円

● 灯油購入費高騰対策事業 …………… 4億2,273万円

物価高騰等の影響を受けている低所得世帯の負担軽減を図るため、市町村民税非課税世帯を対象に灯油購入費助成事業を行う市町村を支援する。

● 大学・専修学校・私立高校電力等 価格高騰対策支援事業 …………… 2億3,898万円

電力等の価格高騰の影響を受けている公立大学法人、私立大学・短期大学、私立専修学校及び私立高等学校の負担軽減を図るため、光熱費の高騰分に対し助成する。

● 新 きのこ栽培燃油等価格高騰対策支援事業

…………… 3,337万円

生産資材及び燃油等の価格高騰下においてきのこの生産者の負担軽減を図るため、経費の高騰分に対し助成する。

● 新 県民応援プレミアムチケット事業

…………… 13億9,428万円

物価高騰等の影響を受けている県内の飲食・小売業などにおける消費拡大を図るとともに、県民生活への支援につなげるため、プレミアムチケットを発行する。

12月議会 一般質問

山形 健二 [横手市]

- ◆ 稼ぐふるさと納税について
- ◆ 陸上競技場にかかる設備・環境整備の改善について
- ◆ 若年層の人口流出や地域産業を支える人材の育成・確保について



12月議会 総括審査

三浦 茂人 [秋田市]

- ◆ 新スタジアムの整備について



常任委員会 令和7年9月・12月議会



佐藤正一郎の 県議会レポート



令和7年12月議会総括

ツキノワグマ出没による人身被害や農作物被害が多発したことから、9月と12月の県議会ではクマ対策についての質疑が多く行われました。県は捕獲体制の強化や安全確保、クマと人の生活圏を棲み分ける「管理強化ゾーン」の設定、2月下旬からの管理捕獲の実施など、さらに踏み込んだ対策に取り組めます。

◆ツキノワグマ被害に係る緊急対策

昨年は県内各地でツキノワグマの出没があり、県の情報マップシステム『クマダス』によると令和7年12月15日現在の目撃件数は13,433件(過去最多)、大半が集落や市街地など人の生活圏で目撃されています。人身被害は58件、66人(死亡4人・負傷62人)となっています。

県では「緊迫した」現状を分析し、●出没多発・人身被害の増加 ●安全な県民生活・学習環境の危機 ●深刻な現場の対応力・マンパワーの不足の課題について、捕獲体制の強化、学校・通学路の安全確保、自衛隊による支援活動、県庁内に「クマ対策強化プロジェクトチーム」を設置するなどの緊急対策を実施。

鈴木知事は一般質問や総括質疑で、今後は「人身被害ゼロ」を目指すとして、市町村と連携してクマと人の住む緩衝地域に「管理強化ゾーン」を設定し、狩猟期間が終わる2月15日以降に、管理捕獲を強化すること。緊急銃猟を含む市街地出没時の体制整備、AIなどのデジタル技術を活用して効率的・効果的な捕獲体制の充実はかると答弁しました。

◆秋田空港駐車場の料金値上げに反対

秋田空港駐車場のサービス維持・向上を図るために利用料金の値上げと無料時間を短縮する条例改正案に反対の討論を行いました。

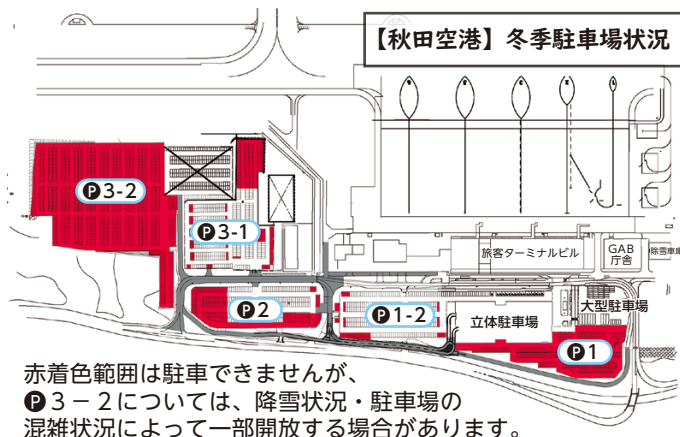
同駐車場は平成22年から立体駐車場を設けるなど、3,000台もの駐車が可能で、昨年度の実績で年間約31万台も利用している。しかし、立体駐車場は雨漏り等でその一部が長期にわたって使用禁止になった他、エレベーターも故障して使用

できなくなり、普段の管理運営について厳しい声が聞かれた。さらに、12月1日から翌年3月までは降雪に備えて閉鎖している場所があり、使用できる駐車台数は半減している。冬期間の運用については15年間も改善されていない。

改正案では無料で利用できる時間を2時間から30分に短縮、立体駐車場や3カ所の駐車場全てで1時間当たりの料金を引き上げ、さらに20日間まで設けられていた駐車料金の上限額を廃止する内容であるが、今でも年間2億円を超える収入があり、管理費用は十分に賄えている。冬季の除雪などのサービスはできたと思う。

無料時間は利用者の増加に伴って平成4年に2時間としていた。これを30分にすれば、その時間内に送迎をすることはほとんど無理になり、納得できない。普段の維持管理を疎かにして利用者の負担を引き上げる改正案は納得できない…などと、訴えました。

採決の結果、改正案は自民党や公明党などの議員が賛成して可決され、7月1日から施行されます。



引用元：秋田県公式Webサイト「美の国あきたネット」

■ 県議会活動はWebからもご覧になれます

秋田県公式サイト 美の国あきたネット

<https://www.pref.akita.lg.jp/>

→ 「秋田県議会」

美の国あきた

検索

「元気な秋田」を創造しよう!!

さとう正一郎ホームページ

<https://www.sho-ichiro.net/>

さとう正一郎

検索

